

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日(平成18年5月訂正)		記入者	内線	642
部名	環境事業部	課名	南清掃工場	課長名	松本
事務事業名	一般廃棄物最終処分場施設運営事業				
予算上の事務事業名	施設運営費 一般廃棄物最終処分場				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	21220	
基本目標	II「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び環境基本法関係法令				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	施設運営 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
南北清掃工場が発生する焼却灰は、一般廃棄物最終処分場に埋め立てている。一般廃棄物最終処分場から生じる浸出水を公共下水道へ放流できるように薬剤処理をし、適正な処分場運営を行なう。					一般廃棄物最終処分場
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	一般廃棄物最終処分場汚水処理施設に必要な薬剤を購入し汚水処理を行なった。 苛性ソーダ：汚水PHをコントロール 塩化第二鉄：汚水中の重金属類を沈殿除去 など ・総事業費 4,246千円 ・需用費 4,246千円(薬剤)				
6 関連・類似事業や他市の状況	近隣で自区内で埋立を行なっている処分場を持つ自治体は少ない				
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	4,170	4,484	4,246	5,471	5,471
一般財源	4,170	4,484	4,246	5,471	5,471
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	85	82	83	83	83
事業コスト合計(a)	4,255	4,566	4,329	5,554	5,554
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	最終処分場汚水処理(薬剤購入に係る事務)			対象名称(単位)	汚水処理量(m ³)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	4,255	4,566	4,329	5,554	5,554
対象数	41,062	36,675	37,248	0	0
単位あたり経費(円)	104	124	116	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比		1.20	0.93	#DIV/0!	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	汚水処理施設稼働日数 (日)	指標式と指 標の説明	汚水処理施設が稼働した日数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	365.0	366.0	365.0		
目標	365.0	366.0	365.0	365.0	365.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	放流水自主基準値達成率 (%)	指標式と指 標の説明	ISOに基づく自主基準値（PHほか）の達成率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]: 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]: 概ね良好な状況である事業				
	[★★★]: 見直しを行う必要がある事業				
	[★★]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価 (今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		ごみが排出されつづけ最終処分場がある限り継続する必要がある事業である。今後の水質の推移にもよるが、現状維持に努めたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 水量や水質によるところが大きい。現状維持に努める。			14 課題として認識されたこと ごみの排出量の削減等により最終処分場の延命をはかる必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			